

ニューズレター No.78

発行人 寺田 貢

2015(平成 27)年 7 月 3 日発行

日本リメディアル教育学会, ニューズレターNo.78 をお届けいたします。今回は,

- (1) 第 11 回全国大会開催案内
- (2) 2015(平成 27)年度定時総会のご案内
- (3) 会誌投稿用メールアドレスの変更

についてお知らせいたします。

第 11 回全国大会開催案内

日本リメディアル教育学会全国大会は, 2005 年に清泉女子大学で開催された第一回大会以来, 全国各地での開催を重ね, 2015 年度, 第 11 回大会を迎えることになりました。今年度は北星学園大学(札幌市)を会場として全国大会および総会を以下の要領で開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 会場: 北星学園大学 C 館

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西 2 丁目 3 番 1 号

アクセス: http://www.hokusei.ac.jp/site_information/access/

2. 会期: 2014 年 8 月 28 日(金)~30 日(日)

3. おもな企画

1) 基調講演(29 日 13:20~14:50, 50 周年記念ホール)

「リメディアル教育で培う主体的な学びに向けて—本学会 10 の専門部会を中心に—」寺田貢(日本リメディアル教育学会会長, 福岡大学 教授)

「主体的な学びと協同学習」安永悟(初年次教育学会会長, 久留米大学 教授)

2) 学会企画シンポジウム(29 日 16:30~18:00, C500 教室)

「日本リメディアル教育学会の今後の活動—学会名変更と今後の学会活動案—」

2005 年 3 月に活動を開始した本学会は 10 年の節目を越え, 設立 11 年目を迎えている。その間に, 2008 年 10 月には会長名で全会員に向けて「学会名変更について公募」と題する文書が発送され, 学会名の変更が提案され, 2012 年 5 月には 5 つの学会の運営目標からなる「今後の学会活動案」が示され, 学会ホームページに公開されている。これら学会から発信され

たメッセージについて点検し, 今後の学会活動の方向性を議論する場としたい。

司会者: 寺田貢(福岡大学)

登壇者: 寺田貢(福岡大学), 馬場真知子(東京農工大学), 谷川裕稔(四国大学)

3) 8 大学連携事業(文部科学省採択事業)共催シンポジウム(30 日 15:00~16:30, C500 教室)

「ICT を活用した学修の実質化と可視化」

学生の主体的な学びを引き出すアクティブラーニング等の新しい授業形態が注目されている。一方で, こうした学びでは知識の定着が不十分になりがちで, これを補完するための課外での自主学習との組み合わせ(反転学修等), 学修の実質化を図ることが期待されている。本シンポジウムでは, ICT を活用して授業と授業外を効果的に接続させる先導的な取組事例を紹介し, 知識の定着と活用を実効的に行っていく教育方法の有用性を明らかにする。特に, 当学会もステークホルダーとして共同で開発している共通基盤系の e ラーニングを活用した反転学修・ブレンドラーニング等の事例と, 数学・日本語・低学年のキャリア系の教育プログラムといった幾つかのキートピックを取り上げることで, 当学会所属の会員でも同様の授業実践を行える, または直接的に参考になるように意識した内容を紹介する。また, こうした ICT を活用することで学修成果の可視化も行えることも踏まえ, 事例のご紹介を頂くと同時に, 参加者からも声も拾いたい。

司会者: 中嶋輝明(北星学園大学)

登壇者: 小松川浩(千歳科学技術大学), 秋山英治(愛媛大学), 西誠(金沢工業大学)

4) 各部会企画(28 日 14:00~17:10)

英語部会【ラウンドテーブル】(28 日 14:00~15:30, C703 教室)

「リメディアルを超えるリメディアル英語教育実践のあり方」

本企画では, 高等教育機関だからこそできるという視点からのリメディアル英語教育について実践交流を行う。これまでリメディアル英語教育と言えば, 高校までの英語学習のやり直しととらえられがちであった。本企画ではまず, 語彙指導と音読指導, 人間的コミュニケーション活動の視点について問題提起を行う。

さらに参加者からの提案や情報提供をもとに、基礎学力定着と友だち関係を構築し学力形成を進める授業実践のあり方を考える。

日本語部会・学習言語部会合同【ラウンドテーブル】(28日 14:00～15:30, C701 教室)

「日本語力の測り方—日本語力を育てるとは？」

日本語部会と学習言語部会では、これまで大学での学習を支える日本語力とは何かという問題に対して取り組んできたが、今回は各種日本語検定の開発の関係者から、開発の意図と実施状況、及び日本語力についての考え方について話題提供を受ける。試験で測ろうとしている日本語力と、求める日本語力の育成に必要なことは何かということについて議論を深める。

学校教育部会【ラウンドテーブル】(28日 15:40～17:10, C701 教室)

「いま、日本語リテラシーが危ない！！(大学入学までに培いたい母語能力について堀裕嗣先生に聞く)」

大学教育は、義務教育(高校を含む)で養われた能力へのプラスアルファが前提である。しかし、現状はそうになっていない。そのため、多くの場合、中学・高校レベルに戻って教育する必要がある。なぜ義務教育の教育内容が定着せず、大学に進学する学生が生まれるのか、義務教育から堀裕嗣先生を招き、小中高大の教員間で現状についての情報共有を行う。

理数系部会・編集委員会合同【ワークショップ】(28日 15:40～17:10, C703 教室)

「理数系リメディアル教育研究のススメ」

本学会の会誌「リメディアル教育研究」においては、近年理数系の論文の投稿が少ない状況にある。そこで、研究を活性化するためのワークショップを企画した。具体的には、研究デザインや研究計画の立て方に関するレクチャーのあと、事例をベースに研究計画をたてるワークショップを行う。ワークショップの題材は、理数系の教育研究を対象としたものを扱う予定であるが、研究計画の立て方は、分野に依存しないので、理数系を専門としない方の参加も歓迎である。特に、もともと教育学等が専門でない方が、リメディアル教育研究を行っている方にはぜひ参加していただきたい。

5) ポスター・デモセッション・企業セッション(29日 15:00～16:20, C402 教室, C502 教室)

正会員(個人)によるポスター発表と賛助会員による企業展示を同一会場で開催いたします。また今大会では、賛助会員による自社製品やサービスを活用した教育事例を積極的に紹介するデモ・ポスター発表を同時に開催いたします。

6) 一般発表(口頭)

日時:2015年8月29日(土) 9:30～11:25

2015年8月30日(日) 9:10～14:50

会場:北星学園大学 C 館

C401 教室, C403 教室, C500 教室, C501 教室

7) 情報交換会

日時:2015年8月29日(土)18:20～20:20

会場:北星学園大学 大学会館 3 階 生協食堂

参加費:5,000 円

申込方法:大会参加申し込みと一緒に手続きしてください。

4. 大会参加申し込み

大会ホームページの「参加・発表申込システム」からお申し込みください。受付は混雑が予想されるため、事前申し込みをしていただけますようお願いいたします。円滑な大会運営にご協力ください。

諸費用および申し込み締切日につきましては、後述の「5. 大会参加費」「6. 重要な期日」をご覧ください。

大会ホームページ:

<http://www.jade-web.org/jade/conference/conference.html>

5. 大会参加費

正会員(個人) 事前申し込み 4,000 円

当日申し込み 5,000 円

非会員 事前申し込み 5,000 円

当日申し込み 5,000 円

その他の費用

情報交換会 事前・当日共 5,000 円

昼食(弁当) 29, 30 日分 各 800 円

* 大会参加費には予稿集 1 部が含まれます。

* 正会員および賛助会員(ご出展がない場合)は、代表者

の他 2 名まで正会員, 4 人目以降は非会員の大会参加費が必要です。

* ご出展の賛助会員は 3 名まで大会参加費が無料です(予稿集 3 部が含まれます)。

* 部会企画に参加される方も大会参加申し込みが必要です。

* 受付の混雑を避けるためできるだけ事前申し込みをお願いします。

* 申し込み期限につきましては、後述の「8. 重要な期日」をご覧ください。

6. 重要な期日

参加申込締切(事前支払)

郵便振込の場合 8 月 3 日(月)17:00 (システム上の登録と別途振込)

カード払いの場合 8 月 7 日(金)17:00 (システム上で登録及び決済)

参加申込締切(当日支払) 8 月 21 日(金)17:00 (システム上で登録のみ)

* 8 月 21 日(金)17:00 以降は、当日、会場での申し込み及び支払となります。

7. 問い合わせ先

日本リメディアル教育学会第 11 回全国大会ヘルプデスク

メールアドレス: jade-desk(at)bunken.co.jp (送信時は(at) を @ に換えてください)

(日本リメディアル教育学会第 11 回全国大会実行委員会)

2015(平成 27)年度定時総会のご案内

日本リメディアル教育学会会則第 13 条から第 16 までに定める総会を以下の日程で開催いたします。会員の皆さんはご出席く

ださい。

日時:2015 年 8 月 29 日(土) 12 時 30 分~13 時 00 分

場所:50 周年記念ホール

議題:2014(平成 26)年度の決算書類の承認, 役員選挙結果の報告, 役員の選任その他

(会長 寺田 貢)

会誌投稿用メールアドレスの変更

会誌「リメディアル教育研究」への原稿提出は、

<http://www.jade-web.org/jade/journal/journal.html>

からダウンロードする原稿表紙と原稿テンプレートを添付ファイルとして、編集委員会のメールアドレスに送信して提出していただいています。このほど、印刷所と連携した編集体制をとるため、送付先を以下の通り変更いたしますことをお知らせいたします。

従来の送付先:pub(at)jade-web.org

新しい送付先:jadepub(at)midori-p.com

(編集委員長 谷川 裕稔)

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限ります(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【文責】寺田 貢